

名古屋は面白い！ 都市名古屋の過去、現在、将来

都市名古屋が持つ面白さを、過去、現在、将来の都市計画の視点に立って紐解いていきます

過去 堀田 典裕 白い街ができるまで、白い街ができてから

現在 宮脇 勝 現在の名古屋の魅力を共有するためにできること

将来 渡辺 伸二 名古屋市の今後の都市づくりについて

開催日 2019年12月14日(土) 13:30~17:20 (受付開始13:00)

会場 名古屋大学環境総合館 1F レクチャーホール

参加費 無料 (定員100名)

主催 名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 建築学教室

後援 (一社) 日本建築学会東海支部 (公社) 日本建築学協会東海支部 (公社) 愛知建築士会

(公財) 名古屋まちづくり公社 (公社) 空気調和・衛生工学会中部支部

(一社) 建築設備技術者協会中部支部 (一社) 日本建築構造技術者協会中部支部

講演概要

① 渡辺 伸二 (名古屋市住宅都市局都市計画部都市計画課長) 名古屋市の今後の都市づくりについて

名古屋市では、2019年度から5年間を計画期間とする「名古屋市総合計画2023」を策定し、これとあわせて次期都市計画マスタープランの策定を進めています。

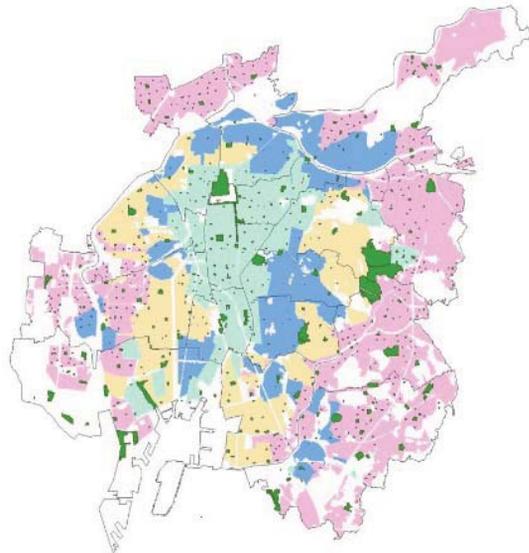
こうした長期計画の内容をもとに、人口構造・動態の変化、リニア中央新幹線の開業、産業構造の転換、価値観や働き方の多様化、観光需要の高まり、激甚化する自然災害、都市の持続性に対する意識の高まり等、社会経済状況が大きく変化する中での名古屋市における今後の都市計画・まちづくりの方向性について報告するとともに、現在進めている名古屋駅地区・栄地区を中心とする都心部、金山などの拠点における開発の動向等について紹介します。



② 宮脇 勝 (名古屋大学大学院環境学研究科准教授) 現在の名古屋の魅力を共有するためにできること

：「名古屋アトラス」の作成と行政との協働

名古屋の暮らしは、都市と地方の特徴を合わせ持ち、ごく普通の暮らしの様で、実はそれが協調性のある特別な社会から成っています。日本の武將を輩出した古き良き江戸時代を誇りに、「日本人の普通」として作り上げた市街地の姿は、どこかノスタルジックな日本に出会える魅力があります。そうした魅力を資源として共有するには、環境資源図や写真集としての「名古屋アトラス」を作ることが有効でしょう。機能的な「ビル」群と「街区」群で構成された現代都市名古屋の姿は、国際競争する海外の諸都市と比べて唯一無比な日本の都市の代表格といえます。現在、景観や歴史まちづくりに関して市と協働した事例を紹介しますが、そうした普通の生活の中に潜む名古屋の「魅力」を大切にしていけば、他都市にはない「静かな暮らし」を享受できる可能性があります。



③ 堀田 典裕 (名古屋大学大学院工学研究科助教) 白い街ができるまで、白い街ができてから

：近現代名古屋における都市デザインの持続性について

都市の全体計画が、現状に応じたプログラムや将来を見据えた整備方針として説明されることは自明の事柄です。しかしながら、今後都市が持続的に発展するためには、近現代に立案された計画の内容を検討し、新しい計画のどこがどのように過去と連続できるかを考えることで、その都市に固有の特徴を浮き彫りにすることができるのではないのでしょうか。本講演では、「大名古屋都市計画(1924)」「大中京圏再建の構想(1945)」「名古屋防災都市建設計画(1960)」という3つの全体計画の特徴を検討し、その後の様々な都市デザインとの相関関係について論じることで、近現代名古屋における都市デザインの持続性について考えてみたいと思います。



プログラム

- 13:20 主催者挨拶 荒木慶一 (建築学教室主任)
- 13:30 講演① 渡辺伸二「名古屋市の今後の都市づくりについて」
- 14:30 講演② 宮脇勝「現在の名古屋の魅力を共有するためにできること」
- 15:30 休憩
- 15:50 講演③ 堀田典裕「白い街ができるまで、白い街ができてから」
- 16:50 質疑・討論
- 17:20 閉会挨拶

お申込み方法：参加希望者の代表者氏名、所属(学生の場合は学年も)参加者人数を明記して下記メールアドレスまでお申し込み下さい。
お申込み・お問合せ先：〒464-8603 名古屋市千種区不老町 C2-④ 名古屋大学建築学教室 まちとすまいの集い事務局 (担当：後藤)
E-mail：n.goto@nuac.nagoya-u.ac.jp

